

令和5年度 教育委員会施策評価一覧表

幸田町教育委員会

令和6年 1月18日

対象事業名	事業の概要	令和4年度概算事業費	総合評価	教育委員会内部評価	外部評価委員会評価
就学援助事業	経済的な理由によって就学困難な児童又は生徒の保護者に対し、義務教育の円滑な教育の機会均等のため、学用品費、給食費、修学旅行費等の援助を行う。	21,419千円	A	教育機会の均等な提供のため、経済的な事情により修学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等の援助をすることで教育機会の均等な提供を継続的に行った。また、新たにオンライン通信費を追加し、より使いやすく充実した制度の運用に努めた。	就学に必要な経費を補助することにより、保護者等の経済的負担を軽減でき、教育機会の均等の保持を図れている。その中で、援助を必要とする者を取り残すことなく、確実に制度案内できるよう、広報やチラシはもとより、関係課と連携を図るなど、制度の周知を広く行っていただきたい。
教育相談事業	幸田町内の小中学生、保護者、教員等に対して、非行や悩みを解消し集団生活に適應できるよう、相談、助言及び不登校で悩む児童生徒等に対する個々の状態に応じた指導を行う。	20,423千円	A	不登校だけでなく、情緒面の問題や発達上の問題に至るまで、幅広い相談内容に対応し、早めの相談や適應指導の活用により全国よりも不登校の割合は少ない。	より多くの人が相談しやすい環境づくりが進んでいることは評価する。教育相談事業だけにとどまらず、児童生徒の不登校の状況や背景を正確に把握し、関係機関等との連携や問題解決を図るための支援が必要と考える。
社会体育推進事業	全年齢層の町内在住、在勤者に対して、スポーツの振興と心身の健全な発達、相互の親睦を図り、明るく住みよいまちづくりに寄与するために、町民大運動会、スポーツ教室、町民スポーツ大会、新春駅伝・ファミリージョギング大会、愛知駅伝参加、ニュースポーツの普及などを行う。	15,044千円	A	スポーツ教室・スポーツ大会については、コロナ前と同規模で開催されるようになり、多くの町民が参加する事業として、重要な役割を担っている。また、大きく変更はしていないが、前年度の反省等を活かした事業展開を行っている。	個人のニーズに合わせたスポーツを展開しつつ、やりたい時にできる環境を整えておくことが大切と考える。新たにニュースポーツのモルックを取り入れたところも評価できる。 来年度の町民大運動会開催については、開催方法の検討と継続をお願いする。

※評価基準（3段階） A：事業成果良好につき、継続が好ましい。 B：事業成果あるも、一部改善検討の上、継続 C：事業成果に課題あり、見直し又は廃止が適当